



# あさり

～夢と自信と地域への思いを育む学校を目指して～

- 進んでかかわり 共に高め合う子
- 自ら学ぶ子
- 思いやる子
- たくましい子

小樽市立朝里小学校  
令和6年度  
学校便り

第10号  
2024.10.31 発行

## 「どさんこ子ども地区会議 in しりべし」

教頭 田畑 牧子

先日、児童会前後期運営委員の5、6年生8名が「どさんこ子ども地区会議 in しりべし」に参加しました。この会議は、後志の小中高生と Zoom を活用して行われました。目的は「いじめ問題について、自ら考えたり行動したりすることができるようにするとともに、いじめのない楽しい学校づくりに向けた今後の実践にいかせるように」です。

交流グループに分かれての話合いでは、高校生がファシリテーター役となり、交流を運営するというものでした。話し合いのテーマは「いじめのない楽しい学校づくりのためにできること」でした。8名の児童は次々と自分の意見を出し、話し合いは盛り上がりました。その様子を一部お伝えします。

- ・異学年交流でたくさん話したらいい。
- ・話すにはどうしたらいいの？
- ・きっかけが必要。
- ・学年レクとか。
- ・例えば、町内でのお掃除活動で5年生の3組と6年生の3組と一緒に組んでとか。
- ・児童玄関に交換日記みたいなの置いたら。(いいね)
- ・あー、いいね。交換日記。
- ・クラスの代表みたいな人が。
- ・先生:前期もあいさつ運動やっていたよね。
- ・あれは、おはようございます、で終わっちゃうから。
- ・話すきっかけにはなっているかな。
- ・あいさつって、知らない人とやって、いい気分になれるから。(そうそうそう)
- ・6年生って、3年生とかと接する機会少ないから…。機会があるといい。
- ・上の学年になると差が生まれちゃうから。(たしかに)
- ・こうやって、委員会活動増やせば、話す機会あるかも。こうやって一緒に話せるし。
- ・でも、低学年入れないよ。
- ・じゃあ、お悩み相談室。(いいね)
- ・6年生が1年生のお世話をしていたことあったでしょ。あれみたいのをふやしたらいいんじゃない？
- ・クラブみたいに、学年をまぜてドッチボールとか。
- ・みんなドッチボール好きだから。
- ・でも、1年生対6年生はかわいそうかな。
- ・1年と6年がチームをつくれればいいんじゃない？
- ・そうやったら楽しくなる。

…話は続きました。

テーマに沿って話し合い、途切れずに意見が出る様子に感心しました。また、「いいね」「なるほど」とつぶやいたり「うんうん」と頷いたりする様子があることで、安心して活発に話し合いができることに繋がっていたように思います。日頃の学級で意見の交流が、このような場面にかかされていました。

紹介した様子は一部ですが、子ども達の話す内容からは、他者を思う優しさ、もっといい考えはないかと建設的に話し合う姿がみられました。とても頼もしい姿です。

会議の最中、中高生の意見を聞いた子ども達からは「すごい」「さすが」という声が出ていました。画面越しの中高生の姿に、「あこがれ」を抱いた子もいたように思います。朝里小のリーダー的な存在である高学年が、さまざまな活動で活躍し、下の学年のあこがれの存在になることを期待したいです。



オンライン会議に参加する  
児童会運営委員（十月十八日）

28日(月)の全校朝会では、後期の児童会活動の取組について、各委員から「全校みんなのために、協力して、工夫をして活動をしていく」といった内容の発表がありました。6年生を中心に、活発な児童会活動になることを期待します。1～6年生の各学級には係活動もあります。委員会や係でどのような仕事をしているのか、みんなのためにしていることは何か、など、ご家庭でもお話しをしてみてください。

## おめでとう！小樽子どもの詩コンクール入賞！

全小中学校参加の「小樽子どもの詩コンクール」において本校児童3名の作品が入賞しました。とても嬉しいことです。日々の学校生活の中で、これからも豊かな創造力と表現力をみんなで磨いていきましょう。

- 銅賞 6年生 「やっぱり勉強むずかしい」
- 優良賞 5年生 「あのときにもどりたい」
- 優良賞 6年生 「ぬいぐるみ」